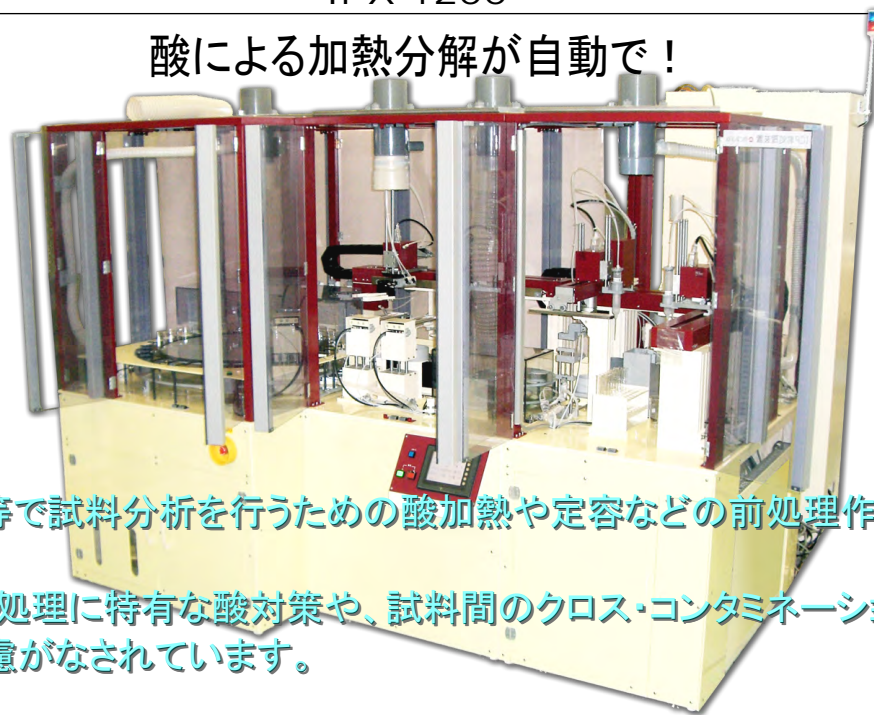


ICP前処理装置

IPX-1200

酸による加熱分解が自動で！



ICP分析装置等で試料分析を行うための酸加熱や定容などの前処理作業を自動的に実行します。

金属分析の前処理に特有な酸対策や、試料間のクロス・コンタミネーションの防止にも十分な配慮がなされています。

仕様

◎ 試料ターンテーブル部

試料形態 : ビーカ内の固体試料
 処理容器 : 200mlトルビーカ(特注品)
 試料搭載方法 : ターンテーブル式
 試料搭載数 : 最大30検体
 試料のセット方法 : ガラス容器試料・ビーカをターンテーブルにセット
 試料テーブルでの : a. 塩酸 1.0~10ml (可変)
 注入液及び注入量 : b. 硝酸 1.0~10ml (可変)
 c. 蒸留水 1.0~20ml (可変)

◎ 移載アーム部

軸駆動方式 : X軸、Z軸駆動
 移載物 : 試料ビーカ
 移載場所 : a. 試料ターンテーブル...>加熱槽
 b. 加熱槽...>冷却ターンテーブル

◎ 加熱槽部

加熱槽の数 : 2
 加熱方法 : 平面置き
 加熱温度 : 加熱槽ごとに可変 MAX.500℃程度(ヒータ部)
 加熱時間 : 可変

◎ 冷却部

時計皿 : 自動時計皿 洗浄機能付(オプション)
 方式 : ターンテーブル式
 搭載数 : 4
 冷却方法 : 放冷
 冷却時間 : 可変

◎ 移載分取アーム部

軸駆動方式 : X軸、Z軸駆動
 (Z軸はチャックハンド用とピペッタ用の2軸)
 移載物 : 試料ビーカ
 移載場所 : 冷却ターンテーブル→ビーカ傾斜移動台→回収コンベア
 分取方式 : ピペッティング方式
 分取場所 : a. ビーカ傾斜移動台...>100ml定容槽
 b. 100ml定容槽...>250ml定容槽
 2段希釈採取量 : 10ml ±0.05ml

◎ 100ml定容槽

注入液 : 蒸留水
 メスアップ量 : 100ml±0.2ml
 攪拌方式 : 採取前バブリング攪拌方式
 攪拌時間 : 可変

◎ 250ml定容槽

注入液 : a. 蒸留水 b. 標準液
 メスアップ量 : 250ml±0.2ml
 攪拌方式 : 採取前バブリング攪拌方式
 攪拌時間 : 可変
 標準液添加量 : 20ml±0.02ml

◎ 分配アーム

方式 : XYZ方式
 分配場所 : 分配場所
 傾斜移動台...>100ml定容槽
 250ml定容槽...>ICPA用試験管
 採取方式 : ピペッティング方式

◎ 制御部

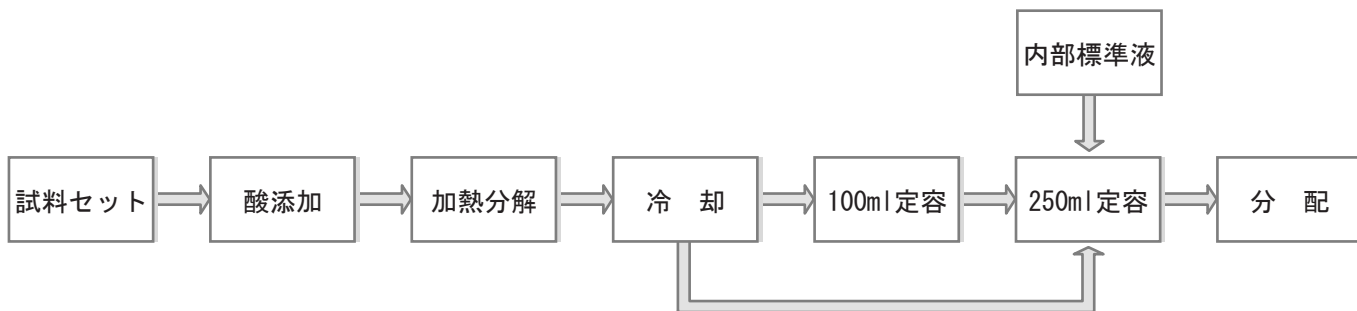
シーケンスコントローラ
 自動運転 : パーソナルコンピュータからの指令に基づき自動運転が行えます。
 手動運転 : 主要な操作が手動で行える機能を有し、ターンテーブル部、加熱部、ろ過部△、定容部、分配部、各種ビュレットなどの調整・確認のための動作が行えます。

◎ 管理部

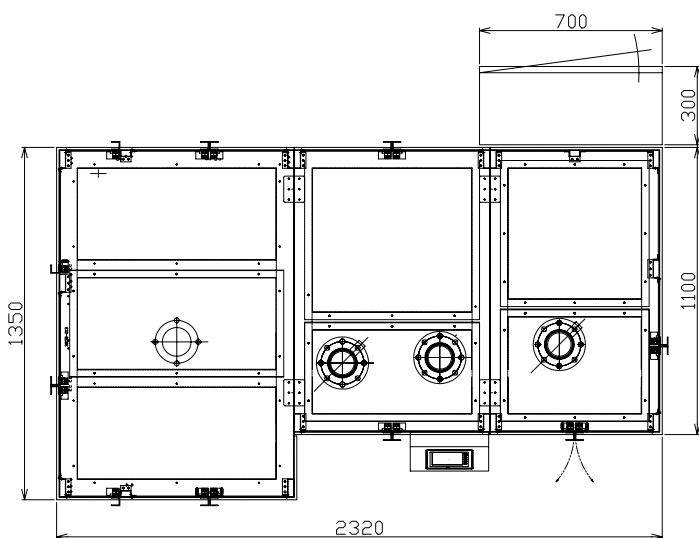
コンピュータ : パーソナルコンピュータ
 ディスプレイ : 17インチ液晶ディスプレイ
 プリンター : インクジェット方式、A4サイズ

※要求仕様によりカスタマイズできます。

工 程



外 形 図



このカタログの内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

